

小麦栽培情報

No.2

【福井県大3号】

JA福井県
【福井基幹支店】

● 万全の排水対策と適期播種を行いましょ!!

播種のポイント

1. 土づくり

「土づくり肥料」でPHを6～6.5にしましょう。

「麦豆一番」60kg/10a、または、「ようりん」40kg/10a+「マグエース」100kg/10a



2. 播種：適期播種は10月10～20日ご

土壤水分条件の良いときに、丁寧な作業を!! 播種は、「10月10日～25日」頃が適期です。「圃場が乾いた状態で」行います。「早播き」は、「茎数過剰」や「初冬～早春の肥切れ」を招き収量や品質の面でマイナス要因になるので極力控えましょう。

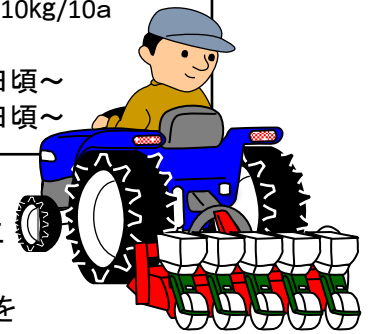
- 土壤水分の高い圃場を無理やり耕起し播種しても、出芽率が低く上手く育ちません。やむを得ず播種する場合は、「条播」よりも「散播」をしましょう。

- 播種量「条播」7～10kg/10a

- 播種時期

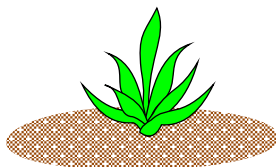
山間部：10月10日頃～

平野部：10月20日頃～



3. 施肥：年内に肥料切れをさせない!!

年内に「肥料切れ」しないように、施肥設計をしましょう。年内に「肥料切れ」を起こして「黄化」すると、茎数確保ができず極端に減収します。『基肥一発肥料』は、緩効性肥料により、年内の「肥料切れ」を防ぎ収量・品質が安定します。また、追肥を散布する必要がなく省力化が図れます。



施肥体系	基 肥	年内追肥	越冬後追肥
基肥一発	大麦一発523 35kg	なし	なし
追肥	アグリフラッシュ 40kg	20kg	20kg

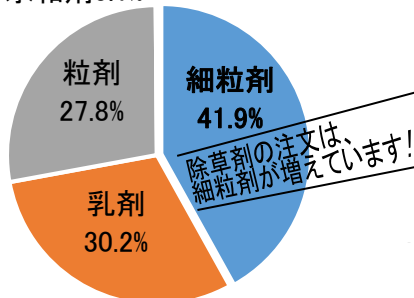
- 分施(基肥・追肥の施用)の場合は、11月中旬～下旬にかけて年内追肥を必ず実施しましょう。

4. 除草剤：雑草に負けない!!

雑草が繁茂すると肥料のほとんどが雑草にとられてしまい、収量が減ります。ガレースは「スズメノカタビラ」や「タネツケバナ」などの広葉雑草に、ハーモニーは「スズメノテッポウ」に、効果があります。

①R4麦予約注文書(除草剤)状況 ②除草剤名

水和剤0.1%



区分	薬剤名	使用量	備考
細粒剤	ハーモニー細粒剤F	4～5kg	播種後～麦3葉期(雑草発生前)
粒剤	ガレースG粒剤		播種後発芽前(雑草発生前)
細粒剤	キックボクサー細粒剤	3～4kg	播種後発芽前(雑草発生前)
乳剤	トレファノサイド乳剤	200～300ml	播種後発芽前
	ボクサー乳剤	400～500ml	播種後～小麦4葉期
水和剤	ハーモニー75DF水和剤	5～10g	播種後～

- 除草剤を2回使用する場合は、使用基準に制限があります。
JA・農林総合事務所にご相談下さい。

適正播種で収量アップを目指しましょう。『小麦栽培情報』は永平寺支店が担当しました。